

2025 年卒の採用広報解禁から 1 カ月。就職戦線はどのように進んでいるだろうか。キャリタス就活・学生モニターを対象に、4 月 1 日現在の就職活動状況について調査を行った。内定状況など多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 4月1日時点の内定^(※)状況

- 内定率は 62.8%。前年同期実績 (52.9%) を 9.9 ポイント上回る
- 就職先を決めて活動を終了したのは全体の 2 割強 (20.9%)。8 割弱が就職活動継続

2. エントリー状況、選考試験受験状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は 22.6 社。前年同期調査 (21.9 社) をやや上回る
- ES 提出社数、筆記試験は前年と同水準。面接社数は前年を上回る (平均 5.6 社→6.1 社)

3. 本命企業 (第 1 志望) の選考状況

- 「本命企業の選考はこれから」22.1%、「現在受けている」29.0%
- 本命企業の選考が終わったという回答が 3 割強 (計 36.4%) で、前年・前々年より増加

※「内定」には、内々定を含む

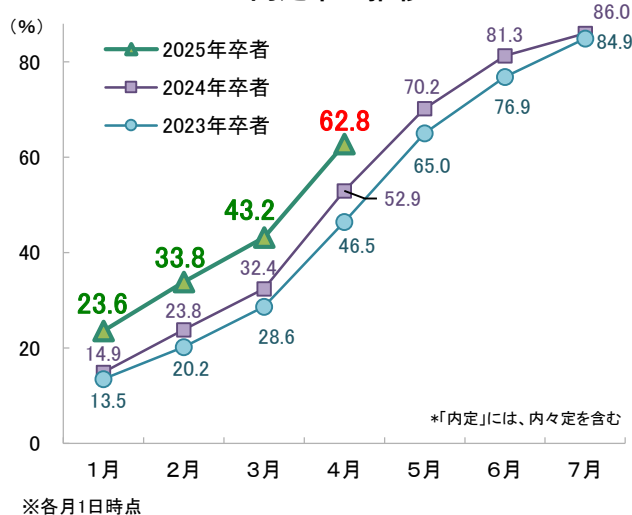
1. 4月1日時点の内定状況

4 月 1 日の調査時点で内定を得ている学生は全体の 62.8%。先月調査 (3 月 1 日) の 43.2% から 1 カ月間で 19.6 ポイント増え、6 割を超えた。前年同期 (52.9%) に比べ 9.9 ポイント高く、非常に早いペースで進行している。

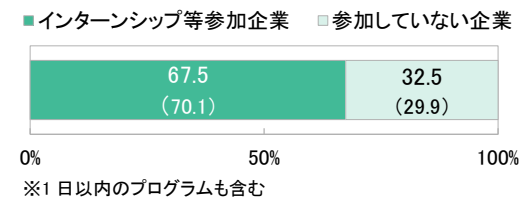
インターンシップ等のプログラムに参加していた企業からの内定が 67.5% を占めるが、前年 (70.1%) に比べるとやや低下。インターンシップ等に参加していない企業からの内定時期が早まったことも、内定率を押し上げている要因だろう。

就活終了者 (就職先決定) はモニター全体の 20.9%。内定率は高水準だが、内定取得学生の多くは内定を保持しながら就職活動を継続している (モニター全体の 38.8%)。

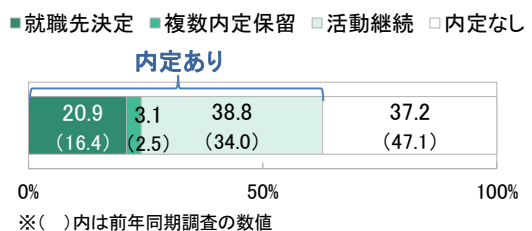
<内定率の推移>



<内定を得た企業の内訳>

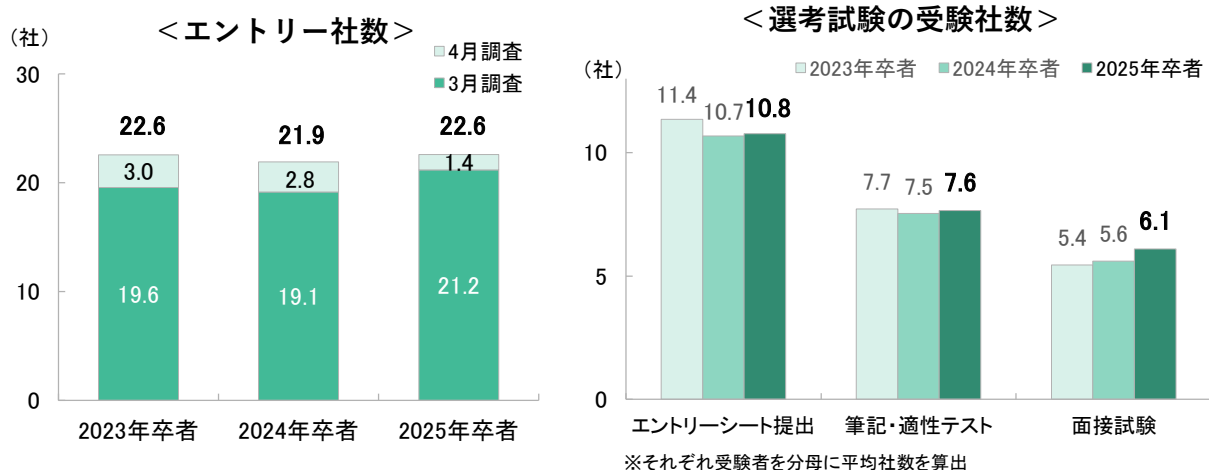


<活動状況の分布>



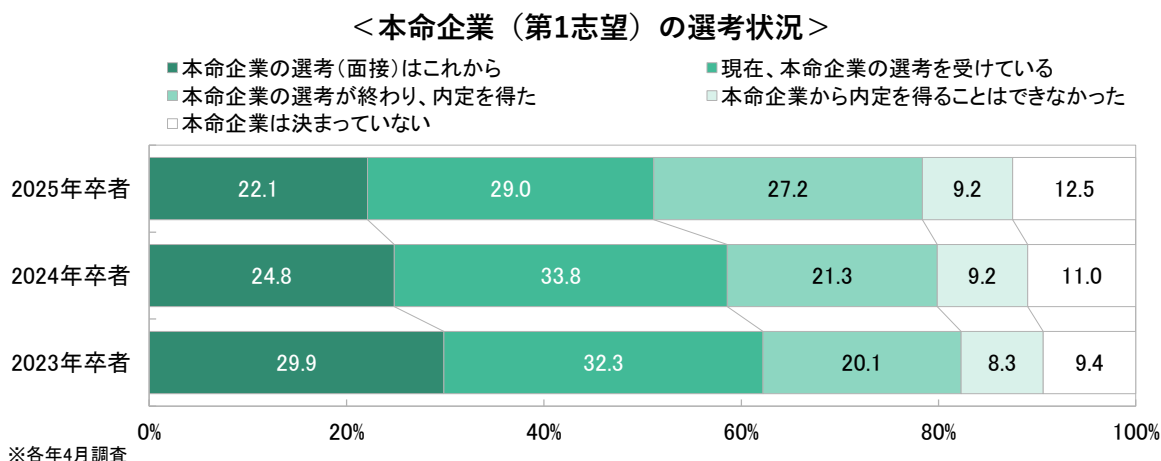
2. エントリー状況、選考試験受験状況

ここまでの活動量を見てみる。一人あたりのエントリー社数の平均は22.6社。先月調査では3年ぶりに増加に転じていたが、この1カ月の増え幅は1.4社にとどまり、伸びは鈍化した。ES提出社数や筆記試験の受験社数は前年同期と同水準。面接試験については前年を上回り(5.6社→6.1社)、面接に進むタイミングが前倒しになっている様子が見て取れる。



3. 本命企業(第1志望)の選考状況

これまでに最も入りたかった企業=本命企業の選考(面接)が、どこまで進んでいるのかを尋ねた。応募前やESの結果待ちなどで「本命企業の選考(面接)はこれから」という回答は2割程度(22.1%)。最も多いのは「現在受けている」で約3割(29.0%)。過去2年と比べ「本命企業の選考が終わった」と回答した学生の比率が高まった(「本命企業の選考が終わり、内定を得た」と「本命企業から内定を得ることはできなかった」の計36.4%)。



調査概要

- 調査対象：2025年3月に卒業予定の大学4年生(理系は大学院修士課程2年生含む)
- 回答者数：1,210人(文系男子319人、文系女子406人、理系男子313人、理系女子172人)
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2024年4月1日~6日
- サンプリング：キャリアス就活 学生モニター2025
- 調査実施：株式会社キャリアス/キャリアスリサーチ